

船橋税務協力団体長会 会長賞
私達の税

船橋市立三田中学校

第一学年

藤原 明 璃

私は家族全員に身近な税を聞いてみました。私と姉と妹は、消費税と答えました。買い物をするレシートに消費税が表示されているからです。趣味がドライブな父は自動車税で、母は相続関連の手続きをしていた為、相続税でした。性別、年代によって身近に思う税が違っていると気付きました。

今私の中学校では、税金を使って体育館にクーラーを付ける工事をしています。夏の暑い日に授業や部活動で使用した際、熱中症のリスクがあるからです。災害の避難場所でもある体育館なので、少しでも使いやすい場所にする必要があると思いました。

そう思うと、税とは大切で必要なものなんじゃないかと思うのに、どうしてマイナスなイメージなのでしょう。

姉と同じ意見だったのが、よくテレビで見

かける国会議員の人数の多さに、いつも疑問を持つていました。発言する人や反論する人、様々な人の中に、議会中にふさわしくない行動をしている人もいます。学校でそんなことをしていたら、先生に注意され恥ずかしいと思います。真剣に自分の考える政策に取り組んでいるのかわかりません。議員としての自覚をもっと感じてもらい責務を果たしてほしいと思います。

日本は他国に比べて税金は高くありません。特に消費税については、日本は10%になりましたが、ハンガリーでは27%で日本の約三倍もあります。けれども国民が納得している訳は、医療費、教育費、年金支給が手厚く保障してくれているからです。私は陸上部なので、ケガをした時に医療費がかからなかったらいいなと思いました。税が高い分、良い保障が揃っていれば誰もが納得すると思います。

でも、日本でそれをやるのは難しいのはなぜなのでしょう。消費税は、消費者一般に広く公平に税を求める為、若者から高齢者にまで関わってきます。増税が、意味のある使われ方をしていくかという信用度の低さも、増税が難しい理由だと思いました。

興味を持った税に環境税があります。山や森林はあるのに、海には税金関係がないのです。山と同様で海も大切な資源です。その海に税金をかけるべきだと思いました。海に入ったら、その活動内容によって税金を払うというものです。海水浴やダイビング、漁業もそうです。船の事故により、有害物質が海へ流れてしまうニュースや、ダイバーがサンゴ礁にダメージを与えるような接触をしていることもあるそうです。人間が海に入ったら、少なからず、海への被害があると思っただので、海税を作り、海を守る活動をしている団体等に使うてほしいと思いました。

私達が払う税が、どこにどう使われているのか、わかりやすく伝われば税に対するマイナスなイメージも変わってくると思います。今、日本を支えている税が、明るい将来への積み立てになればいいなと思いました。